

Google for Education

Google Workspace for Education 教育委員会導入チェックリスト



最終更新: 2020年6月1日

目次

1

ドメイン(3P)

2

管理者(3P-4P)

1. 組織に関して
2. 管理権限と役割に関して
3. 管理設定と外部サービス連携に関して
4. 運用開始前に検討すべきこと

3

ユーザー(5P-6P)

1. ユーザー作成の際に考慮すべきこと
2. アカウント配布前にできる事前設定
3. ユーザープロフィールに関する設定

4

Chromebook(6P)

1. デバイスプロフィールに関する設定
2. Chromebook の運用に関して

5

ネットワーク環境(7P)

- ・Chromebook を利用する回線について

6

参考資料(7P)

Google Workspace for Education

教育委員会導入チェックリスト

お客様の組織に Google Workspace for Education を設定し、容易なコラボレーション、一元化された組織、合理化されたプロセスへの道を開きましょう。こちらのガイドを教育委員会をはじめとした大規模組織での導入の際に、ご活用ください。

1 ドメイン

- Google Workspace for Education を申し込むためのドメインを所有している
- ドメインの所有権を教育委員会で保持している
- 所有権の設定作業を教育委員会で行うことができる。もしくは、作業指示を行うことができる
- ドメインを所有していない場合、ドメイン名が決まっている。申請の準備が整っている
- Google Workspace for Education の申込が完了している
- ドメイン所有権の確認を作業したか

2 管理者

1. 組織に関して

- 組織の設計イメージがある
 - それぞれの学校を別々の組織とする
 - 全ての教員を1つの組織とする
 - 入学年度単位で全ての生徒を1つの組織とする

2. 管理権限と役割に関して

- ❑ 各組織の管理者を選定し、設定内容が確定している
- ❑ 各校の担当者に付与する権限と役割
 - ❑ ユーザー作成、変更(*教頭アカウントなど限定推奨)
 - ❑ ユーザーのパスワード変更
 - ❑ グループ作成(*教頭アカウントなど限定推奨)
 - ❑ サポート問い合わせ(*ICT 担当アカウントなど限定推奨)
- ❑ パスワードリセットの役割とルールが決まっている
- ❑ 異動の際のユーザー移行・データ移動方法を検討したか
- ❑ ユーザー作成のスケジュール設定と日程確保

3. 管理設定と外部サービス連携に関して

- ❑ フィルタリングの設定を検討した
 - ❑ セーフサーチ、ホワイトリスト、ブラックリストの有効化
- ❑ シングルサインオンを利用するか
- ❑ 管理者アカウントの2要素認証利用を検討したか

4. 運用開始前に検討すべきこと

- ❑ 導入完了後の教員研修を計画したか(全教員用、ICT 担当者用、推進教員用)
- ❑ 運用開始以降、各教員が学習できる仕組みを用意している
- ❑ 運用中のトラブル解決フローが決まっている
- ❑ 運用中のプロファイル等のアップデートルールが決まっている

3 ユーザー

1. ユーザー作成の際に考慮すべきこと

- アカウトの利用者が決まっている
- アカウトの命名規則が決まっている
- パスワードの設定規則が決まっている
- アカウトの作成者と作成タイミングが決まっている
- 次年度以降の作成ルールが決まっている
- 利用者へのアカウント / パスワードの配布方法が決まっている
- 保護者の許諾をとるか方針が決まっている

2. アカウト配布前にできる事前設定

- 予め作成しておくグループが決まっている
- 作成するグループの命名規則が決まっている
- 予め Classroom のクラスを作成し、アカウント登録を行うか
- Classroom の教師設定を事前に行うか
- Classroom の保護者機能を利用するか

3. ユーザープロフィールに関する設定

- 児童生徒が利用可能なアプリの選定
- 拡張機能の選定
- Android アプリの利用可否
- Chrome ブラウザの設定

- ブックマークの設定
- ログイン後の初期画面の設定
- 初回導入設定後に追加設定する際の申請フローができています

4 Chromebook

1. デバイスプロファイルに関する設定

- 指定したドメイン以外のログインを禁止するか
- ゲストユーザーのログインを許可するか
- ログイン時のドメインのオートコンプリートを有効にするか
- ユーザーがログアウトした後に、ローカルのデータを消去するか
- USB デバイスの利用を許可するか、ホワイトリスト設定をするか
- OS アップデート更新のルールを設定しているか
- ネットワーク帯域幅の使用量をデバイスごとに設定するか
- 初期化後に強制的にドメインへの自動再登録をするか

2. Chromebook の運用に関して

- 学校備品以外の私物端末(BYOD)の校内利用の方針が決まっている
- 故障時の代替機運用方法が決まっている
- 充電保管庫の充電 / 保管場所が決まっている
- 校内での貸出ルールが確立している

5 ネットワーク環境

・Chromebook を利用する回線について

- ❑ Chromebook を利用する場所は具体的に特定されていて、その場所のネットワーク環境の現状を確認できている
- ❑ プロキシやウェブフィルタリングの利用検討をしたか
- ❑ Google Workspace for Education が使用するポートが開放されているか
- ❑ 良好な無線のカバレッジがあるか
- ❑ 十分な帯域の確保が確認できているか
 - ❑ 標準的なユーザー: 0.2 - 0.5 Mbps 以上
 - ❑ HDハンガアウト等を使用するユーザー: 1 Mbps 以上
 - ❑ HD動画ストリーミングを使用するユーザー: 4 Mbps 以上
- ❑ 既存のネットワーク環境で Chromebook が動作可能か確認している

6 参考資料

[クイックスタートIT 設定ガイド](#)

[Chrome デバイス管理の概要](#)